

パナソニックの環境取り組み

2022年 3月 17日

パナソニック株式会社
品質・環境本部

経営理念と創業者の思い

経営理念

事業を通じて
世界中の人々の暮らしの向上と
社会の発展に貢献

環境への思い

企業は社会の公器
産業の発展が、自然を破壊し
人間の幸せを損なう事は本末転倒

* 松下幸之助著「企業の社会的責任とは何か？」（1974年）より

当社の使命



250年計画 (1932年発表)

- 「物も心も豊かな理想の社会」を250年で実現
- 1節25年とし10節 すなわち10世代で実現
次世代 その次の世代へと使命達成を受け継ぐ
- 次代のために私たちが犠牲になることではない私たちが十分人生の幸福を味わい 人生を全うしなおかつ次代を良くする

「サステナブル」「ウェルビーイング」がパナソニックの使命の根源

パナソニックの環境基本方針

① 環境宣言

私たち人間には宇宙万物と共存し、調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられている
我が社はこの人間に与えられた使命を自覚し、企業としての社会的責任を遂行するとともに、この地球が
バランスのとれた健康体であり続けるために環境の維持向上に万全の配慮と不断の努力を行う

1993年制定

② 環境行動指針

環境課題への取り組み



社会との共感を通じた取り組み



③ 環境行動計画 = グリーンプラン

環境行動計画「グリーンプラン2021」を推進中

環境ビジョンの実現に向け、「エネルギー」と「資源」を重点課題として目標設定

課題	2021年度目標		2020年度実績		
重点課題	エネルギー	使うエネルギー総量に対する創るエネルギー総量の比率拡大	使う：創る = 8.5 : 1	14.5 : 1	
		製品・サービス	創るエネルギー量の拡大	創るエネルギー量 30TWh以上	16TWh
			使うエネルギー削減貢献量の拡大	削減貢献量 直接 25TWh以上 間接 2TWh以上	30TWh 1.8TWh
			創るエネルギー事業の拡大	エナジー関連事業の拡大	—
			省エネルギー事業の拡大	IoT/AIを活用した製品・サービスの拡大	—
		工場	CO ₂ ゼロモデル工場の推進	・水素応用技術実証工場の確立 ・グローバル各地域でCO ₂ ゼロモデル工場を1工場以上実現	—
	再生可能エネルギー利用拡大		・自社拠点再エネ導入 40GWh ・再エネ外部調達への推進	35GWh	
	エネルギーミナム生産の推進		・IoT活用によるロス削減 ・工法革新による生産性向上	—	
	資源	サーキュラーエコノミー型事業の創出	既存事業と循環経済の関連性マッピングの100%完了	—	
		投入資源を減らし循環資源の活用を拡大	再生樹脂利用量 42kt以上 (2019~2021年度累計)	28kt	
グローバルで工場廃棄物をゼロエミッション化		工場廃棄物リサイクル率 99%以上	98.7%		
継続課題	水	生産活動での水使用量削減			
	化学物質	生産活動、製品での化学物質による環境負荷を最小化			
	生物多様性	持続可能な原材料調達を推進			
	地域社会	地域社会貢献および次世代育成の取り組みを推進			
	コンプライアンス	環境法規制の順守徹底			

サステナビリティ経営の実現に向けて



地球環境問題の解決への貢献

- 2030年まで 全事業会社CO₂排出実質ゼロ
- 2050年まで 自社バリューチェーン（VC）のCO₂排出規模を上回る削減貢献

GREEN IMPACT として発信



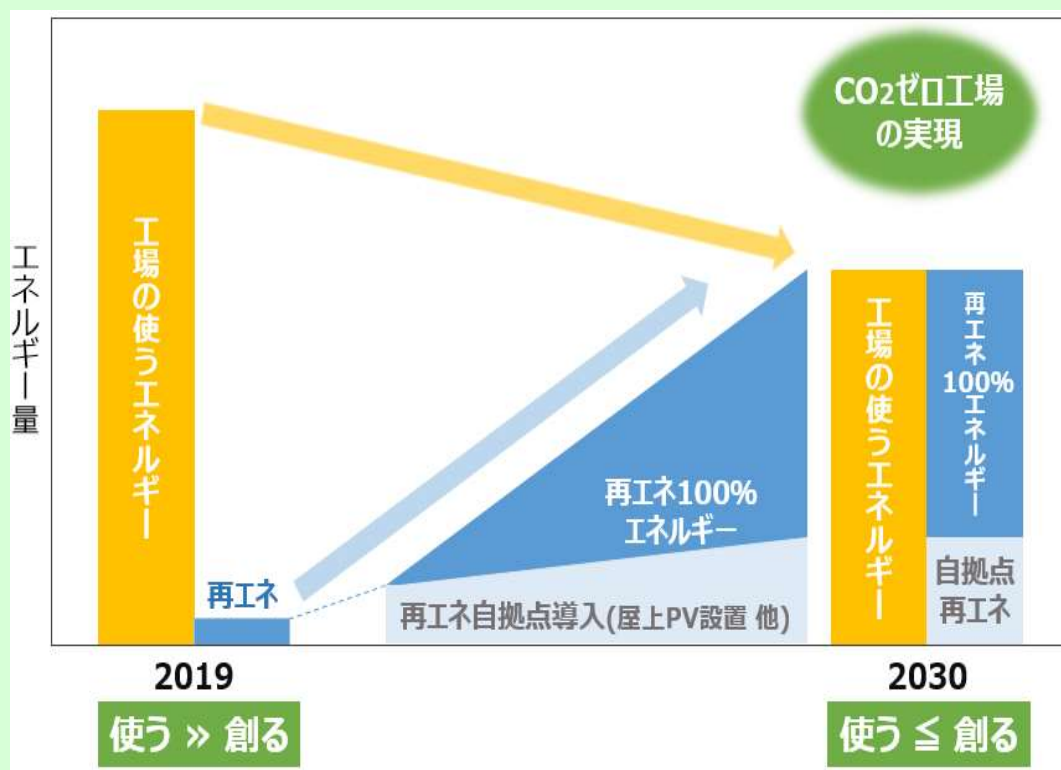
心身ともに健康で幸せな人生を支える

- 暮らしのウェルビーイング
 - しごとのウェルビーイング
- 前提となる当社従業員のウェルビーイング

物も心も豊かな理想の社会の実現に向け
地球環境・人びとの生活の改善と向上を図る

全事業会社でのCO2排出量実質ゼロ化に向けて

「①省エネ」+「②再エネ利活用」+「③再エネ調達」に取り組む



(代表施策)

①省エネ

メタゲジ
稼働ロス削減

AIエネルギー
自律制御

②再エネ利活用

創蓄連携
システム

水素燃料電池
ソリューション

③再エネ調達

再エネ100%
電力調達

環境価値
調達

優先
順位

CO₂ゼロ工場の推進

グローバル各地域でモデル工場の実現を目指す


※
パナソニックエナジーベルギー(株)(PECBE)
は株式完全譲渡(21年6月)
で連結対象外

 **パナソニック エナジー無錫 (有) (PECW)** **21年3月**

電力
○PV発電システム
○I-REC


燃料
○CO2クレジット



 **パナソニック セントロアメリカーナ (PCA)** **20年3月 実現**

電力
○PV発電システム
○再エネ由来電力

燃料
○CO2オフセット
→電化PJ推進で削減へ



CARBONO NEUTRAL
Sustainable Consumption & Production

 **パナソニック エコテクノロジーセンター (PETEC)** **19年1月 実現**

電力
○PV発電システム
○再エネ由来電力

燃料
○CO2クレジット



 **パナソニック ブラジル (PANABRAS)** **19年3月 実現**

サンジョゼ、マナウス、エストレマの全3工場


電力
○再エネ由来電力

燃料
○CO2クレジット




CO₂ゼロ工場事例：PECW無錫(パナソニックエナジー無錫)

2020年度に100%再生可能エネルギー由来による事業運営を実現

 **21年3月**

パナソニック エナジー無錫 (有) (PECW)



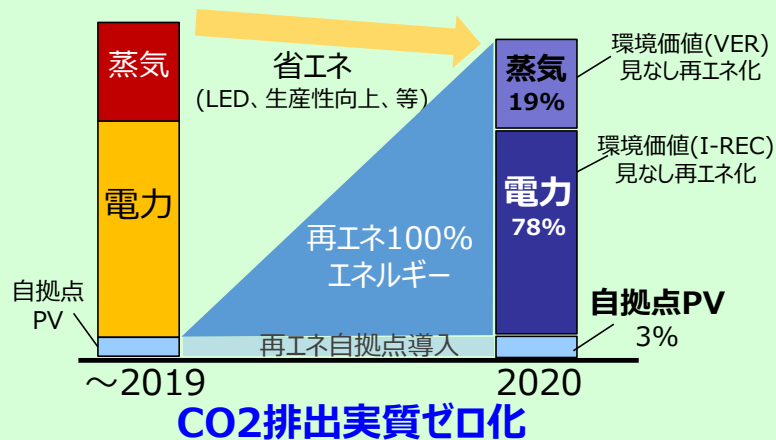
① 省エネ



双腕ロボット自動生産ライン
(生産性向上)



AIを活用したEMS連携制御
(ドライルーム空調省エネ)



② 再エネ利活用



自拠点太陽光導入(1.6MW)

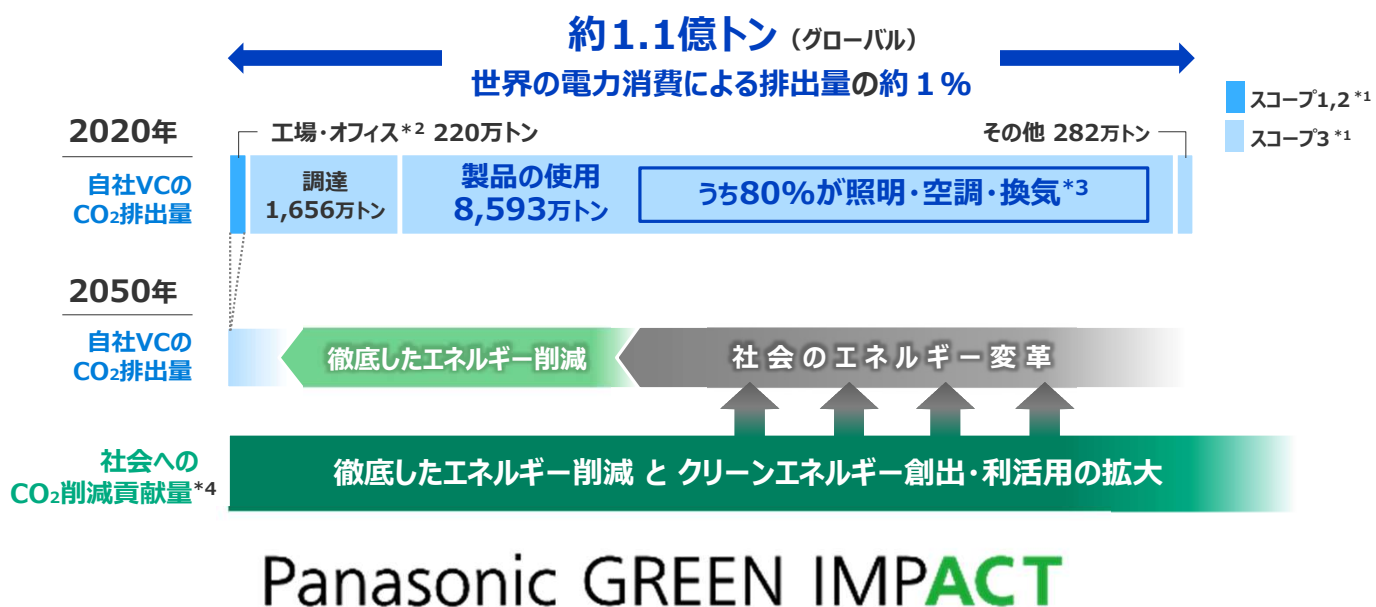
③ 再エネ調達



環境価値証書の調達
(I-REC, VERs)

グローバルのCO₂削減に事業で貢献

「徹底したエネルギー削減」と「クリーンエネルギーへの変革」の加速で世界のカーボンニュートラルに貢献



パナソニック サステナビリティ説明会 (2022年1月6日) グループCEO楠見の説明資料より

カーボンニュートラル社会に向けた当社の貢献

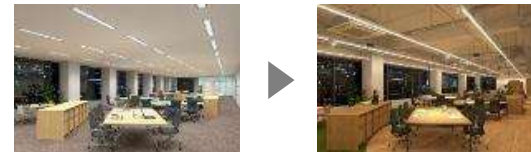
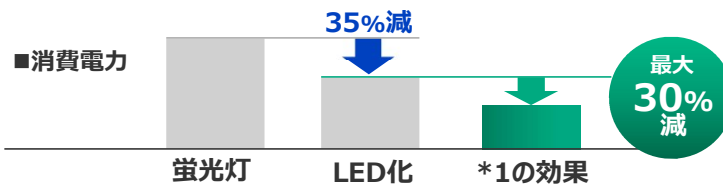


徹底したエネルギー削減

照明

快適性を損なわず 最大30%^{*1}の省エネを実現

- 快適性研究により「空間の明るさ感」を指標化
- 「光制御技術」「適所適光による空間演出」で 快適性と省エネを両立

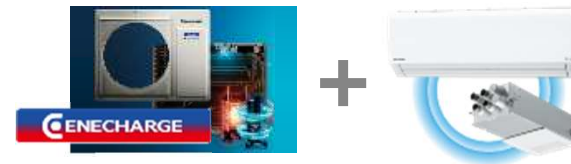
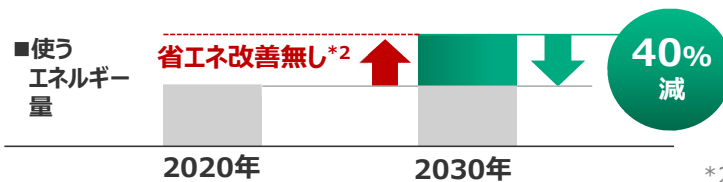


*1: 蛍光灯からLED化による省エネ効果は除く

空調・換気

機器の革新・連携などで約40%エネルギー削減^{*2}

- 室外機の排熱活用技術「エネチャージ」を冷房に展開
- 換気の熱ロス低減 機器連携で使うエネルギーを極小化



*2: 個別機器・省エネ換気の進化と機器連携等による2030年の削減目標

くらしをより快適にしながら さらなる省エネを目指す

「社会のエネルギー変革」への貢献

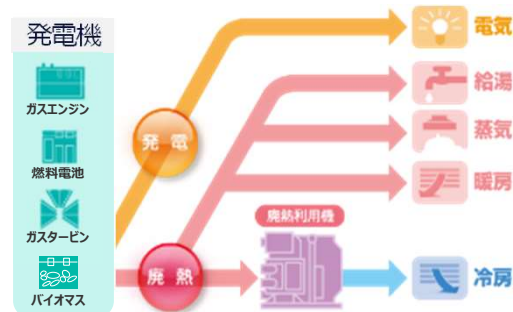
電化によるエネルギー変革

- ヒートポンプ式温水暖房機、IH調理器など

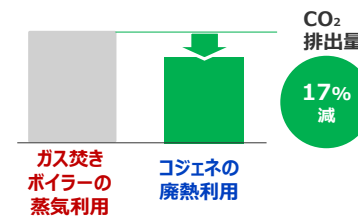


エネルギーの有効活用による排出量削減

- 低い環境負荷（低消費電力・水冷媒）の吸収式冷凍機でコジェネの廃熱を利用
- 当社拠点の実証で17%のCO₂排出削減を実現 各事業場へも展開



当社拠点の事例



※ 2018年度対比 2021年度見通し

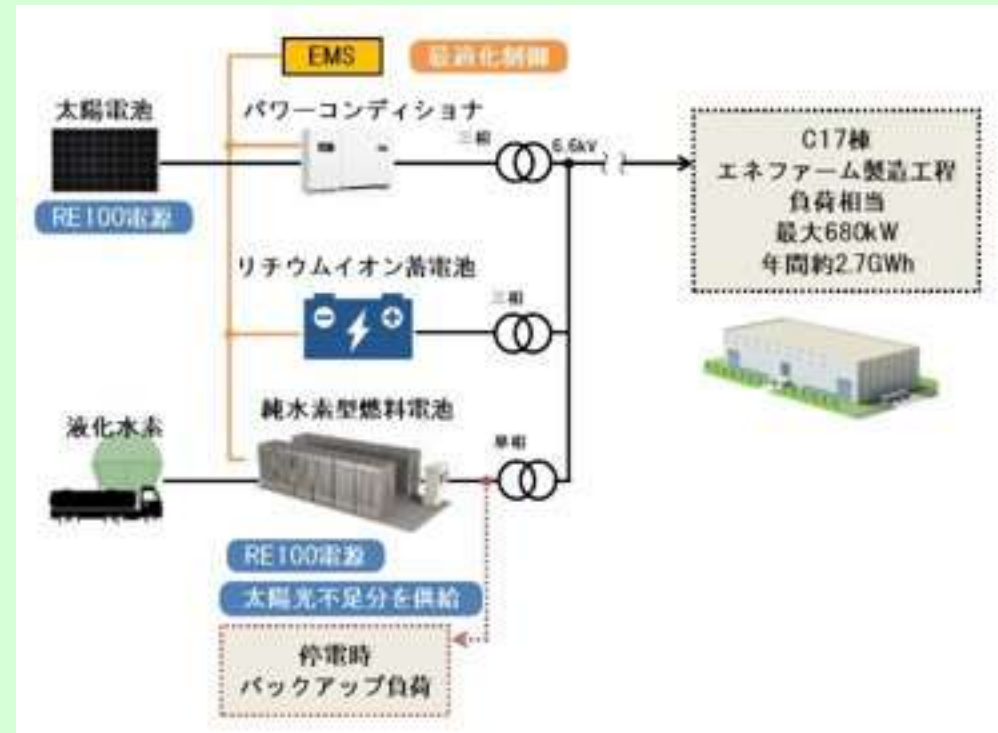
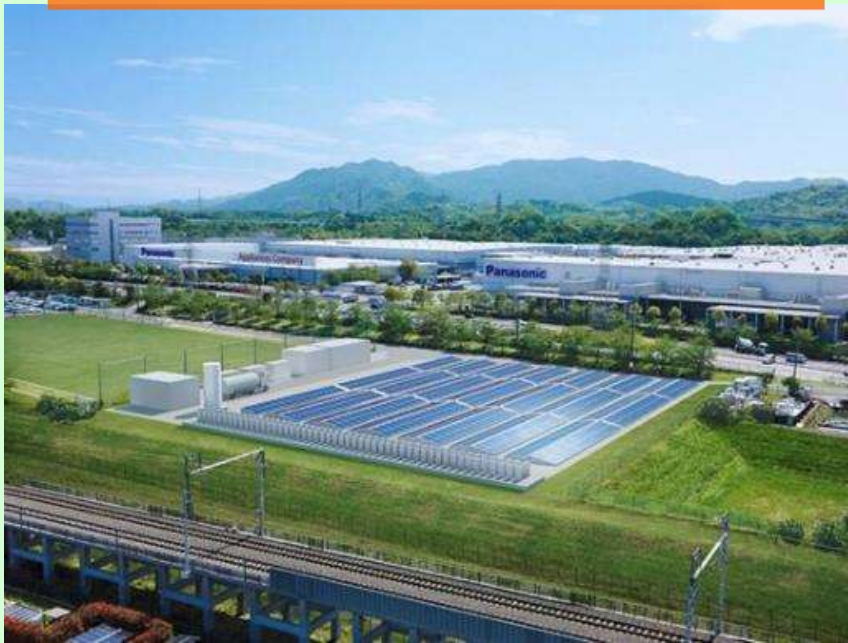


病院・公共施設・工場など 地域のCO₂削減と省エネに貢献

クリーンエネルギー創出・利活用の拡大

純水素型燃料電池と太陽電池を組み合わせ、事業活動で消費するエネルギーを100%再エネ化する実証を開始

草津RE100ソリューション



滋賀県草津拠点に**純水素型燃料電池**（500 kW）と**太陽電池**（約570 kW）を組み合わせた自家発電設備、そして余剰電力を蓄える**リチウムイオン蓄電池**（約1.1 MWh）を備えた大規模な実証施設を設置

水素活用の取り組み

水素社会の幕開け・日本の先進技術を世界にアピール



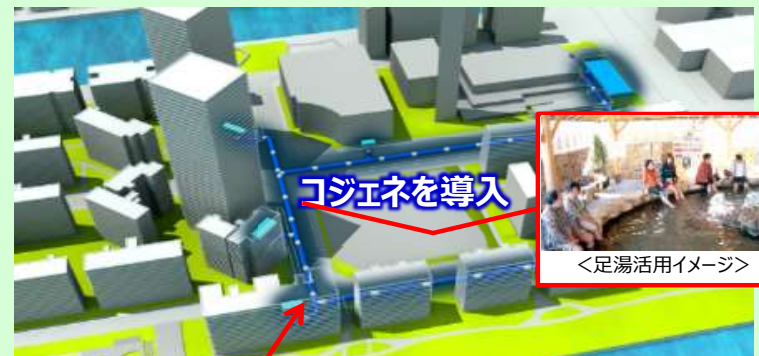
世界初！『水素エネルギー利用』を本格的に導入した街づくりに貢献
域内に水素パイプラインを整備し、街区・車両へ水素を供給する計画

全住戸「エネファーム」を導入予定
(CO2削減量：約5,000t/年)



- 概要：晴海五丁目西地区 第一種市街地再開発事業
- 敷地面積：約18ha
- 主な施設概要：
住宅（4,145戸：3つの分譲街区合計）
商業施設・小中学校・公園・マルチモビリティステーションが併設

共用部への純水素燃料電池の導入



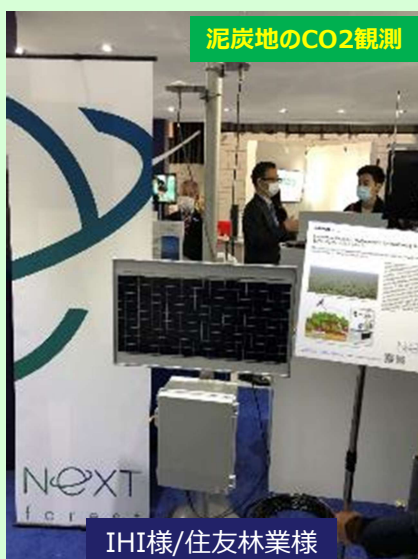
<純水素燃料電池6台連結イメージ>
6台連結を4ヶ所（うち2ヶ所はコジェネ）予定

COP26ジャパンパビリオンにて水素事業を訴求

英国グラスゴーで開催されたCOP26において約90ヶ国がパビリオンを設置
当社もジャパンパビリオンにおいて水素事業を訴求



日本のパビリオン



パナソニックの出展内容

出展テーマ：水素燃料電池による水素社会への貢献



純水素燃料電池の展示



COP会場入り口

ジャパンパビリオン



山口環境大臣



純水素燃料電池の活用をシーン毎に演出



NHKおはよう日本で放映

Panasonic

各国のパビリオン



開催国：英国



アメリカ



ケリー気候問題担当大統領特使



サイドイベント会場



次回開催国：エジプト



韓国



オーストラリア

Panasonic

Panasonic
GREEN
IMPACT

ご静聴ありがとうございました